



**指定ごみ袋をレジ袋に  
転用し環境負荷軽減を**



渡邊 隆（久比岐野）

**問**／市は、ごみの減量化を図るため、平成20年度からごみ処理を有料としているが、この制度による事業効果はどうか。

**答**／家庭ごみの処理に係る経費の約2割を市民から負担いただき、指定ごみ袋の製造や配送、ごみ集積所の設置や更新の支援、不法投棄の回収などの費用に充て、環境保全に活用している。市民1人の1日当たりのごみ排出量は、導入直後の平成20年度において、導入前と比べ約2割減少した。近年も減少傾向が続き、ごみを排出しない意識が浸透していると認識している。指定ごみ袋は、米ぬかを原材料とすることで、石油由来のごみ袋と比較すると、原材料の使用重量の約2割をバイオマスに代替することができ、環境負荷の低減にも貢献していると考ええる。

**問**／有料レジ袋の代わりに、指定ごみ袋の購入がマイバック使用を選択できるようにすることで、ごみの減量化と環境への配慮に繋がると考えるがどうか。

**答**／レジ袋として使用した場合、ちぎれるなど、ごみ袋として使用できなくなる恐れがある。

**問**／レジ袋として使用できる良質なごみ袋を製造できるよう、業者への支援も必要ではないか。

**答**／一層環境に配慮したバイオマス素材等の研究・開発に努めていただけるよう、製造業者に働きかけていく。



**ビジョン無し、公約違反、  
市長退陣を勧める**



宮越 馨（無所属）

**問**／市長就任後1年が経過したが、これまでの成果と評価を70〜80点と自己評価しているが信じられない。点数を付けようがない。

**答**／8つのプロジェクトを立ち上げ、可能な限り取り組んでいる。何をすればいいかわかったから評価を高くした。公約実現に尽くしたい。

**問**／子育て日本一、住みよさ全国一、雁木通りを世界遺産にしようが、どう実現するのか！

**答**／子育てについては、市民の意見を聞きながら進める。雁木通りについては、日本一長いことを特徴付け、他と違うように整備していく。

**問**／市長のリーダーシップ論とは何か。

**答**／職員が生きがいを持って、人材育成がなされそれがレベルアップしていく形を絶対つくる。市民も自治を学び、事業者も経営について学びながらレベルアップして、全国、そして世界に発信する上越市にする。

**問**／私との関係が「しがらみ」でないと言つなら、なぜ政策協定の政策を実行しないのか。

**答**／納得のいくものしかやらない。

**問**／ただ市長になりたかっただけなのか！ビジョンも展望も希望もない市政では、大きく後退する市民からは、「選挙詐欺」と言われている。約束は守らない、嘘が多い、市長の要素を大きく欠いている。市政の発展に大きな障害となっている。市民と同じく市長の退陣を勧める。



**豪雪はそれ自体が災  
害、国に働きかけを**



橋爪 法一（日本共産党議員団）

**問**／豪雪というのは、それ自体が災害だ。助けてくれというところにすぐ助けのための手を差し出す、それが政治だ。「これは、普通の雪か、災害の雪か。これは住宅の雪か、店舗の雪か。」、そんなことを言って除雪する人はいない。今のやり方では駄目だと国にはっきり言ってほしい。

**答**／机上の空論で豪雪地帯のことを考えていては困る。国にも強く訴えていく決意だ。

**町田古墳群の発見の意義は**

**問**／町田古墳群発見の意義について聞きたい。

**答**／この発見は、頸北地域にも大和政権と繋がりをもち、古墳群を造営する集団がいたことを示しており、当市の歴史に新しい1ページを加える成果だ。

**問**／教育大綱に「上越市はあなたのわくわくする学びを支えていきたい」とある。市長も応援してほしい。

**答**／地域の子どもたちが地元に関心を持ち、わくわくする学びはとても大切だ。私も全力で応援していきたい。

